

# 防災の ススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501

## 家具転倒防止器具の購入費を補助しています

地震が発生すると、ガラスが散乱したり、家具などが転倒して下敷きになったりしてけがをすることがあります。また、それらが屋外への避難経路をふさぐことがあります。自分や家族の命が助かるよう、家の中を確認して「もしもの時」の予防に努めましょう。対象器具や申請についてなど、詳しくは防災対策課へお問い合わせください。

### ■補助対象者

香南市内に住所がある世帯の世帯主(市税などの滞納がないこと)

### ■対象器具

家具などの転倒防止器具や照明の落下防止器具  
ガラス飛散防止フィルム  
感震ブレーカー  
扉の開閉を防ぐ開閉防止器具など

### ■補助金額

補助対象経費の1/2(100円未満は切り捨て)上限1万円

### ■注意事項

補助は、1世帯につき1回に限ります。  
対象器具は必要な物を組み合わせて複数購入してかまいません。  
補助金を申請するには、対象器具を購入した領収書などが必要です。  
取り付け費用は対象となりません。

※取り付け作業ができない場合は、シルバー人材センターから作業員を派遣する事業も行っています。こちらにつきましても、防災対策課へお問い合わせください



いろいろ組み合わせて  
複数購入可!

## 備蓄品と非常持出品の準備を!

大規模災害が発生した場合、電気・ガス・水道の復旧に時間がかかったり、道路などが通れず、支援物資が届くまでに相当な時間がかかったりすることもあります。平常時から食料や生活必需品などを準備しておき、災害に備えましょう。また、避難をしないといけないことも想定し「非常持出品」を準備しておきましょう。

必要なものは  
1週間分の  
用意を!

### ●備蓄品の例

- 食料(缶詰、レトルト食品、ドライフーズ、栄養補助食品、調味料など)
- 水(一人あたり1日3リットル)
- 燃料・その他(卓上コンロ、カセットガス、寝袋、洗面用具、ラップ、マスク、ロープ、トイレトペーパー、使い捨てカイロ、ドライシャンプーなど)

※食料・水などは購入したものを消費期限前に食卓で使用し、使った分を買い足していくと無駄を防ぐだけでなく、普段から食べているものが、災害時の食卓に並ぶので、安心して食事をすることができます

### ●非常持出品の例

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 飲料水、非常食(乾パンなど火を通さず食べられるもの。乳幼児がいる場合は粉ミルクなど)
- 貴重品(現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証のコピーなど)
- 救急医薬品(キズ薬、バンソウコウ、かぜ薬、胃腸薬、目薬、常備薬など)
- その他(防災ずきん、タオル、軍手、予備電池、ライター、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、下着、生理用品、紙おむつ、ほ乳瓶、お薬手帳など)

※非常持出品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう  
※必要なものの優先順位を決めて用意しておきましょう  
※定期的に中身をチェックしましょう



# 西川地区 集落活動センター

協働 &

# 高知大学 地域協働学部



まだまだ  
いける!  
がんばるぞ~

皆さん  
がんばって!

大学生が提案・企画した「チェアヨガ教室」の様子

平成25年度に開所した香我美町の西川地区集落活動センターでは、みかんジャム作りやサロン活動、西川花祭りなど、さまざまな地域活動を行なっています。

その中で新たな取り組みが、平成27年度から受け入れを始めた高知大学地域協働学部との「協働」です。本年度は、学びの場の提供だけでなく、学生のアイデアを実際に地域で実現し、地域の活性化につなげていこうと、1年生10人と2年生12人が住民と一体(協働)となり、地域の実態調査や学生発案による活動事業を行っています。

今月号では地域と学生が共に考え、進めていこうとしている活動について紹介します。

■問い合わせ:地域支援課 ☎57-8503

## 地域を知る

### 💡 まちあるきを実施(10月)

1年生10人が2班に分かれ、地域住民とともに西川地区を歩き、地域について学びました。

### 💡 ヒアリング調査(11月)

1年生が地域住民の皆さんに暮らしのこと、地域への思いなどを聞き取りし、理解を深めました。

### 💡 みかんの収穫体験(11月)

西川のみかん農家さんに指導をもらいながら、1年生のみかんの収穫体験を行いました。

## 地域と協働する 地域への企画・提案

### 💡 地域への企画・提案

2年生は集落活動センターの会合に出席し、ショウガの加工品作りや花公園の定期的活用、アンケート調査の実施など、地域の課題解決に向けた企画提案を行いました。提案された企画案は、今年度から来年度にかけて、実現に向け一つ一つ取り組んでいきます。

### 💡 チェアヨガ教室を開催(10月)

2年生の提案をきっかけに、高齢者でもできるチェアヨガ教室を開催しました。さまざまなポーズにチャレンジし、公民館は笑い声に包まれました。※上の写真

### 💡 アンケート調査を実施(12月)

より地域のニーズにあった集いの場づくりを行なうため、西川地区全戸を対象にしたアンケート調査を2年生が実施しました。今後は回収したアンケートを分析し、来年度の活動計画に反映させていきます。

### 💡 西川 祭りを計画(1月)

①集落活動センターの活動を知ってもらい、②活動への参加者を増やし、③次の世代へ繋いでいくための第1歩として、大学生と協働で「西川冬祭り」を開催します。

当日は、ものづくり体験・お正月遊びなど親子で楽しめる遊びを準備するほか、郷土料理や大学生が考案した地元産品を使った料理を参加者みんなで食べながら、交流を深めていきたいと思っています。

西川地区の方はぜひご参加を!

